



第44回

三笠宮記念図書館主催『語る会』 一次世代に語り継ぐもの一

大村幸弘が語る

「ヒッタイトの鉄」の世界

—鉄器時代はいつから始まったのか—

日 時：2009年5月3日（日） 14:30～15:30

語り手：大村 幸弘（中近東文化センター附属アナトリア考古学研究所長）

場 所：中近東文化センター附属博物館 常設展示室

主 催：（財）中近東文化センター附属三笠宮記念図書館

ヒッタイト帝国が歴史上に再登場したのは、約104年前のことです。1906年、ドイツのH・ヴィンクラーはアナトリア高原の一寒村、ボアズキョイで発掘を行い多くの粘土板文書を発見しました。その中にヒッタイトの鉄の謎をひも解く一枚が紛れ込んでいました。

これまでの通説では、今から約3200年前、ヒッタイト帝国が崩壊したと同時に古代中近東は鉄器時代を迎えたと言われています。果たしてこれは事実なのか。カマン・カレホユック発掘調査の最新の情報を基にヒッタイトの鉄を語ってみたいと思います。

❖ 中近東文化センター附属博物館には入館料（一般800円/高大生500円/65才以上400円/中学生以下無料）をお支払いの上ご入館下さい。

・ギャラリーメイトは入館無料/三鷹・武蔵野市にお住まいの方は入館料100円
（住所の分かるものを受付にご提示ください）

❖ 『語る会』は、6月以降も月1回のペースで開催いたします。図書館ホームページ、もしくはお電話にてご確認ください。

❖ お問い合わせ：（財）中近東文化センター ☎0422-32-7111（代）

〒181-0015 東京都三鷹市大沢3-10-31